

Information

学会開催案内・新刊紹介などの
情報をお届けします

医療福祉建築フォーラム2019

日程■2019年9月19日(木)・20日(金)

会場■建築会館ホール(東京都港区)

定員■140名(定員になり次第〆切)

参加費■一般:37,800円, JIHA会員・会友:21,600円(税込)

プログラム■講演「これからの患者の療養環境(仮)」古谷誠章(早稲田大学創造理工学部教授)／対談「地域と関わるこれからの医療・看護像」石井麗子(一般社団法人プラスケア専従看護師)／講演「日本の近代病院建築の系譜」尹世遠(鹿島建設医療福祉推進部)／シンポジウム「2020年のオリンピック・パラリンピックに向けたユニバーサルデザイン」川野久雄(大成建設設計本部特定プロジェクト部長)・永廣正邦(梓設計常務執行役員スポーツ・エンタードメイン長)・野島秀敏(三井不動産レジデンシャル東京オリンピック・パラリンピック選手村事業部部長)／講演「平成30 自然災害による病院の被害状況と事業継続に関する調査研究」(2018年度課題研究報告)・「北海道胆振東部地震による病院被害」石橋達勇(北海道大学工学部建築学科教授)・「大阪府北部地震, 平成30年7月豪雨による病院被害」宇田淳(滋慶医療科学大学院大学医療管理学科教授)・「豪雨・水害に対する病院設備の備え」鈴村明文(長大社会事業本部まちづくり事業部技術顧問)／講演「認知症とともに生きる」丹野智文(おれんじドア代表)／対談「事業者と設計者の協働・久野病院」久野英樹(医療法人社団薫英の会久野病院理事長・院長)・桑原悠樹(竹中工務店大阪本店)／シンポジウム「住民参加型の施設づくり」久米淳子(常滑市民病院看護局長)・内藤将俊(内藤将俊建築設計事務所代表取締役)・氏原茂将(プランナー)・牧田秀昭(福井市安居中学校校長)

申し込み方法■下記URLより
① 日本医療福祉建築協会事務局
☒ office@jiha.jp
URL https://www.jiha.jp/

千里ライフサイエンスセミナーN3

テーマ■睡眠制御とその破綻—基礎研究から社会実装まで

日程■2019年9月27日(金)

会場■千里ライフサイエンスセンタービル5階 山村雄一記念ライフホール(大阪府豊中市)

プログラム■「睡眠覚醒の謎に挑む:『眠気』の神経科学的実体とは?」柳沢正史(筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構機構長・教授)／「睡眠と免疫の接点—睡眠誘引遺伝子“nemuri”の発見」戸田浩史(ペンシルベニア大学・ハーワードヒューズ医学研究所リサーチスペシャリスト)／「退屈な時に眠くなるのはなぜ?—脳メカニズムの観点から」Michael Lazarus(筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構准教授)／「腕時計と体内時計のミスマッチが招く健康被害」三島和夫(秋田大学大学院医学系研究科教授)／「子どもの睡眠とその破綻」谷池雅子(大阪大学大学院連合小児発達学研究科教授)／「デジタル睡眠医療の社会実装」上野太郎(サスメド株式会社代表取締役)

参加費■無料

定員■200名(定員になり次第〆切)

申し込み方法■氏名, 勤務先, 〒所在地, 所属, 電話番号を明記の上, E-mailで下記まで。

① 公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団セミナーN3担当: 谷山佳央

☒ tkd-2019@senri-life.or.jp

URL http://www.senri-life.or.jp/

第4回行政担当者×連携実務者ミーティング

テーマ■データヘルスが描き出す保健, 医療, 介護のグラデーション

日程■2019年10月19日(土)

会場■中野サンプラザ(東京都中野区)

定員■120名

参加費■会員3,000円, 非会員4,000円, 懇親会費5,000円

プログラム■基調講演「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について」増田利隆(厚生労働省保険局高齢者医療課課長補佐)／実践報告「基幹病院による

地域連携バス運用の実践とノウハウ」十河浩史(倉敷中央病院地域連携・広報部部長)・「脳卒中地域連携バスのデータ解析による地域疾病管理」丸谷宏(鶴岡市立荘内病院診療部主幹兼主任医長)・「在宅医療・介護連携推進事業の視点から取り組むデータヘルス」前野尚子(呉市役所福祉保健部福祉保健課専門員)／総合ディスカッション

申し込み方法■下記URLより

申し込み〆切■2019年10月4日(金)

① 特定非営利活動法人全国連携実務者ネットワーク 事務局

☒ info@renkei-network.net

URL http://www.renkei-network.net/modules/contact/?form=17

新刊紹介『健康行動理論による研究と実践』



『病院』2019年6月号で「地域の健康を支える病院」を特集したように, 今や病院には, 地域の健康を支える視点が求められている。本書は, 健康教育・ヘルスプロモーションの理論・モデルを整理し, 日本国内の事例とともに紹介する1冊。

目次■序章 健康行動理論とは／第1部 健康行動理論の基盤(第1章 健康行動理論の変遷／第2章 個人レベルの理論・モデル／第3章 個人間レベルの理論・モデル／第4章 集団レベルの理論・モデル)／第2部 健康行動理論の研究と実践(第5章 個人レベル／第6章 個人間レベル／第7章 集団レベル／第8章 多様な介入レベル)

編集■一般社団法人日本健康教育学会
B5判/280頁/医学書院刊
ISBN978-4-260-03635-1

定価■本体3,800円+税

本欄への掲載についてのお問い合わせは, 本誌編集室まで, 『病院』編集室 byoin@igaku-shoin.co.jp